3-247-612-**02** (1)

Net MD
デスクトップオーディオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

NetMD　MDLP

LAM-10
LAM-Z10

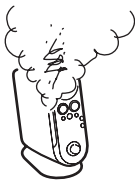
この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6〜9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネット、電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

強制

お使いになる前に

この取扱説明書では、Net MDデスクトップオーディオ本体の使いかたを説明しています。パソコンとつないで使う基本的な操作や、ソフトウェアの詳しい操作についてはそれぞれのマニュアルがあります。下記を参照して必要なマニュアルをお使いください。

本体を使うときは

■ 取扱説明書（本書）

本体の操作全般についてのマニュアルです。本体の操作について詳しくはこちらをご覧ください。

● LAM-10とLAM-Z10の違いについて

本書では、下記の2機種について説明しています。

- LAM-10：本体のみ
- LAM-Z10：本体にスピーカーを付属

機種により機能や操作が異なるところは、「LAM-10のみ」「LAM-Z10のみ」と明記しています。お買い上げの機種名をご確認の上、必要な部分をお読みください。

● 本体とリモコンでの操作について

本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体での操作のしかたは、リモコンと違う場合に明記してあります。

「各部のなまえと働き」（60～63ページ）も併せてご覧ください。

本体をパソコンにつないで使うときは

■ パソコンでNet MDを使ってみよう！

SonicStage Ver.1.5簡単ガイド

SonicStageソフトウェアのインストール方法と基本的な操作についてのマニュアルです。

■ SonicStage Ver.1.5ヘルプ

画面で見る電子マニュアルです。

SonicStageソフトウェアの詳しい操作や、ソフトウェア使用中に困ったことがあったときは、こちらをご覧ください。

■ パーソナルオーディオ・カスタマーサポート

インターネット上のホームページです。本機とSonicStageソフトウェアの最新のサポート情報を見ることができます。

http://www.sony.co.jp/support-pa/

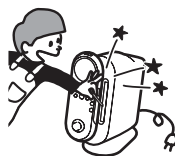
目次

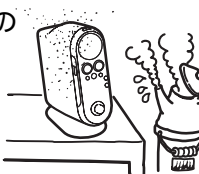
⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

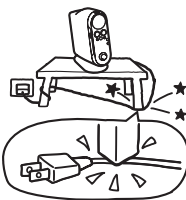
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

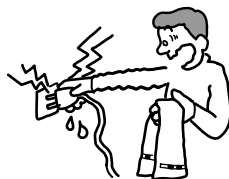
指示

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

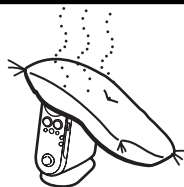
感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

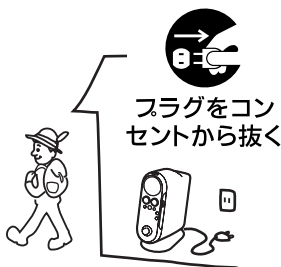
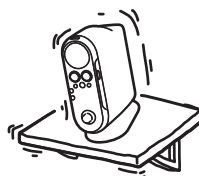
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

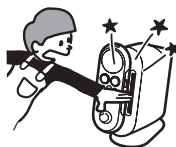
感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

幼児の手の届かない場所に置く

操作パネルなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ•破裂•発熱•発火•誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

付属のソフトウェアについて

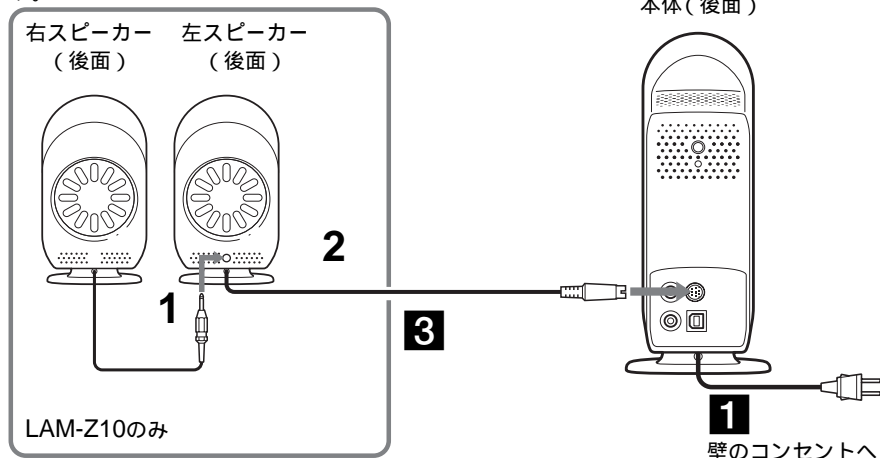
□権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
□本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
□本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
□本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- SonicStage、OpenMG、Net MD、Sound Gate およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- Microsoft 、Windows およびWindows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データ内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。なお、この商品の価格には、著作権上の定めにより、私的録音保証金が含まれております。
（お問い合わせ先（社）私的録音保証金管理協会　Tel.03-5353-0336）

接続する

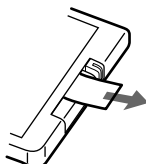
コードは下の手順の通り、しっかり差し込んでください。間違った接続は誤動作の原因になります。

1 電源コードを接続する

本体から出ている電源コードを壁のコンセントへつなぎます。

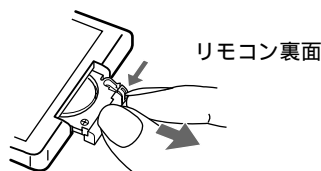
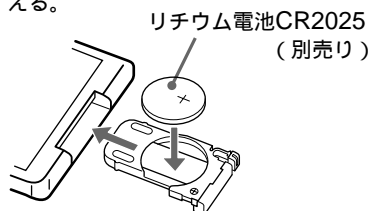
ご注意

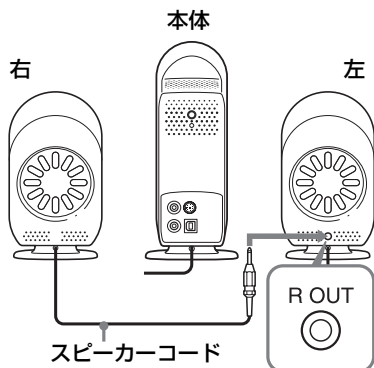
初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、本体内蔵のメモリー用電池を充電してください。電源コードをつないでから、約1時間で充電されます（その間も本機をお使いになれます）。その後、電源コードを抜く場合は、本体の電源を切ってから抜いてください。充電してあると、時計やタイマーなどの内容は約30分間保持されます。記憶させた内容が消えた場合、それぞれ設定し直してください。

2 リモコンの準備をする

絶縁シートを引き抜いてリモコンを使用できる状態にする。
リモコンには電池がすでに入っています。

電池の交換について

電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。
下記の手順で、電池を新しいものと交換してください。ふつうの使い方で約6ヶ月もちます。

1 電池ケースを取り出す。

2 ＋と書かれた面を上にしてリチウム電池CR2025を新しい電池と取り換える。

3 電池ケースを元に戻す。

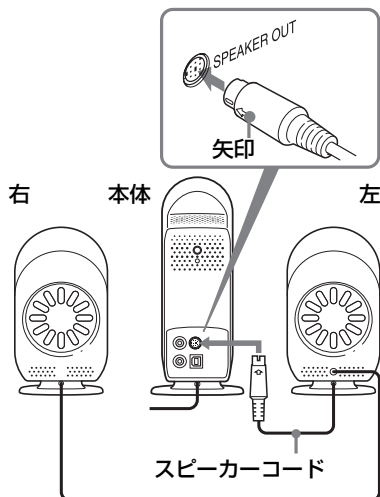
次のページへつづく

ご注意

- リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

3 スピーカーを接続する

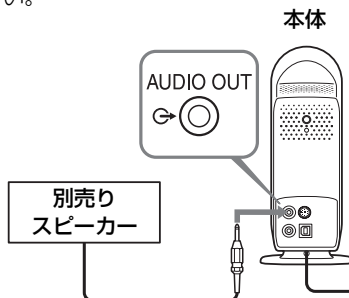
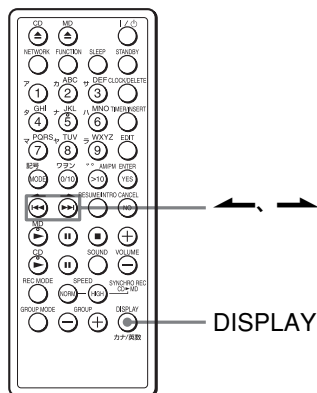
LAM-Z10の場合

1 右スピーカーから出ているスピーカーコードを左スピーカーのR OUT端子に接続する。

2 左スピーカーから出ているスピーカーコードを本体のSPEAKER OUT端子に接続する。

ご注意

スピーカーコードのプラグの矢印を、SPEAKER OUT端子の左側に合わせて差し込んでください。
無理に差し込むと破損するおそれがあります。

LAM-10の場合

LAM-10にはスピーカーは付属されていません。スピーカーをお使いになる場合は、別売りのアンプ内蔵型アクティブスピーカーを本体のAUDIO OUT端子に接続してください。接続方法は、スピーカーに付属されている取扱説明書をご覧ください。

ご注意

本体の操作パネルは左右に動作します。操作パネルがぶつからないように、スピーカーは本体から少し離して置いてください。
また、本体の側には操作パネルの動作の妨げとなるもの（本、花びんなど）を置かないでください。

表示窓のコントラストを調節する

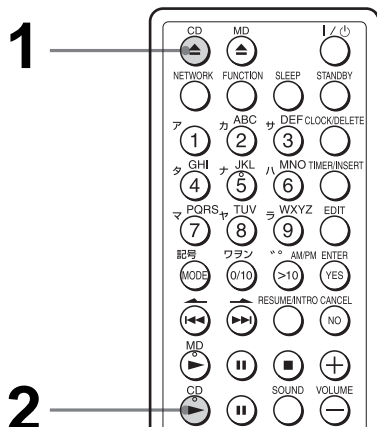
表示窓のコントラストをお好みに合わせて調節できます。

1 **電源を切った状態でDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを約2秒間押す。**

「Contrast」の表示が出ます。

2 **◀━または━▶ボタンを押してコントラストを調節する。**

コントラストの強弱を–7～+7の範囲で調節できます。

CDを聞く

準備➡「接続する」(11〜13ページ)をご覧ください。

1

⏏CDボタンを押して操作パネルを開け、CDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。操作パネルが右へスライドしたら、CDのラベル面(文字のある面)を左側に向けて、スロットに差し込んでください。

CDを入れると、自動的に操作パネルが閉まります。

文字のある面を左側に

2

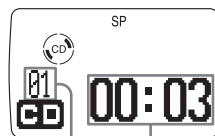
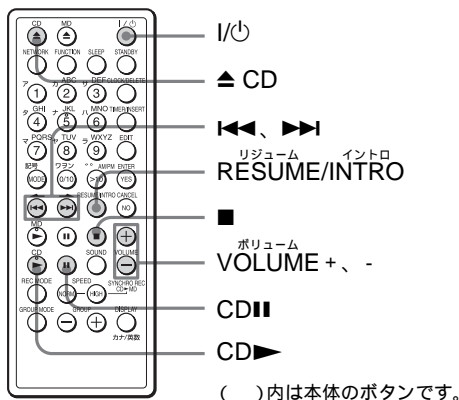
CD►ボタンを押す。(本体ではCD►IIボタンを押す。)

再生が始まります。

本体表示窓

その他の操作

（　）内は本体のボタンです。

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOLUME（ボリューム）＋、－
再生を止める	■
再生中に一時停止する	CDII（CD▶II） もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	I◀◀ 短くポンと押す。
次の曲へ進む	▶▶I 短くポンと押す。
CDを取り出す	⏏CD
電源を入/切する	I/⏻

ご注意

8cm CDを入れるときは、スロットの中央部に差し込んでください。

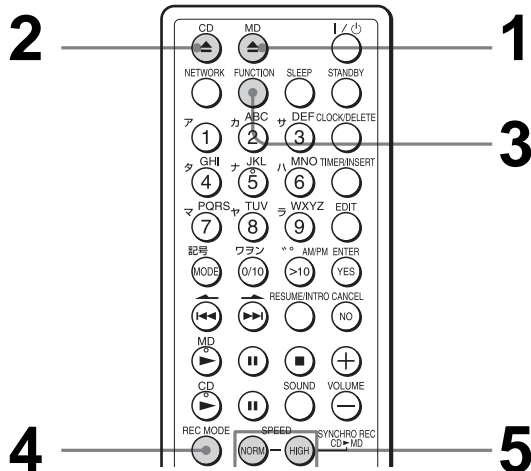
再生を停止した曲からもう一度再生する（リジューム再生機能）

CDの再生を一度止めても、もう一度その曲から再生を始めることができます。

RESUME（リジューム）/INTRO（イントロ）ボタンを押して「Resume On」を表示させます。停止中は表示窓に「R」と再生が始まる曲番が表示されます。

リジューム再生機能を解除するには、リモコンのRESUME（リジューム）/INTRO（イントロ）ボタンを押して「Resume Off」を表示させます。

ちょっと一言

リジューム再生機能が「Resume On」に設定されているときにCDを取り出すか、停止中にもう一度xボタンを押すと、次の再生は1曲目から始まります。

CDをまるごと録音する（シンクロ録音）

準備➡「接続する」（11～13ページ）をご覧ください。

1

MD

≜MDボタンを押して操作パネルを開け、録音用MDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。操作パネルが左へスライドしたら、MDのラベル面を右側に向けて、スロットに差し込んでください。

MDを入れると、自動的に操作パネルが閉まります。

2

CD

≜CDボタンを押して操作パネルを開け、CDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。操作パネルが右へスライドしたら、CDのラベル面（文字のある面）を左側に向けて、スロットに差し込んでください。

CDを入れると、自動的に操作パネルが閉まります。

3

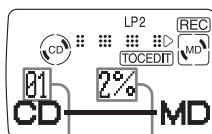
FUNCTION（ファンクション）ボタンを押して「CD」を表示させる。

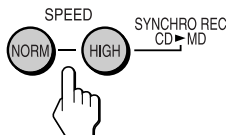
4

REC MODE（レコーディング モード）ボタンを押して録音モードを選ぶ。

ボタンを押すたびに「SP」→「LP2」→「LP4」と切り換わります。

録音モード[1]	表示	録音時間[2]
ステレオ録音	SP	約80分
LP2ステレオ録音	LP2	約160分
LP4ステレオ録音	LP4	約320分

[1] より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音、LP2ステレオ録音を選んでください。

[2] 80分ディスク使用時。

5

高速録音するには、HIGH（ハイ） SPEED（スピード） SYNCHRO（シンクロ） REC（レコーディング） CD►MD ボタンを押す。（音楽を聞きながら通常の速度で録音するには、NORM（ノーマル） SPEED（スピード）ボタンを押す。）

CDの曲番　録音経過表示

自動的に録音が始まります。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。

高速録音中はスピーカーやヘッドホンから音は出ません。

次のページへつづく

CDをまるごと録音する（シンクロ録音）（つづき）

ちょっと一言

- LP4ステレオ録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。そのため、録音されるソースによってはごくまれに瞬間的なノイズが発生する恐れがあります。音質を重視される場合は、ステレオ録音（SP）またはLP2ステレオ録音（LP2）を推奨します。
- 音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。
- 通常の速度で録音しているときには、DISPLAYボタンを押すとCDの再生時間が表示されます。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（44ページ）。
- 録音中に曲名、ディスク名、グループ名を付けることができます。39〜42ページをご覧ください。

ご注意

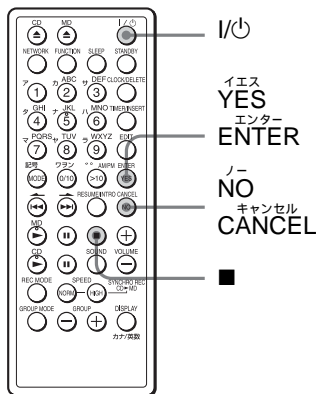
- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 「LP2」または「LP4」で録音した内容を「LP2」または「LP4」に対応していない機器で再生・編集しようとすると「LP:」と表示され、再生・編集できません。

長時間録音について

通常のステレオ録音に加えて、録音時間を2倍（LP2）または4倍（LP4）長くしてステレオ録音することができます。
本機で長時間録音（「LP2」「LP4」）した内容は、長時間再生に対応していない他の機器では再生できません。

高速録音についてのご注意

- 同じ曲を続けて高速録音することはできません（HCMS: ハイスピードコピーマネージメントシステム、65ページ参照）。高速録音した曲が直前の74分以内に録音されたものだった場合は、その曲は通常の速度で録音されます。
1枚のCDの中に何曲か高速録音した曲がある場合は、その曲だけが通常の速度で録音されます。
- 高速録音中に曲の途中で録音が止まると、その曲は録音されません。
- CD-RWから録音するときは、高速録音できません。
- 高速録音中に、CDの汚れにより高速録音にエラーが生じた場合は、自動的に通常の速度で録音します。

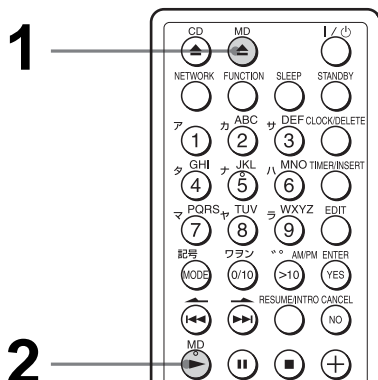
その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を止める	■
電源を入/切する	I/⏻

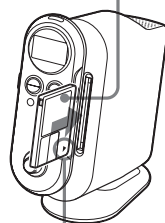
「--:-- Short」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。

CDを最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。

その他のメッセージが表示されたときは56、57ページをご覧ください。

MDを聞く

準備➡「接続する」（11～13ページ）をご覧ください。

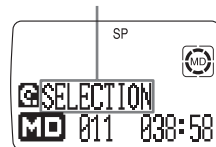
1

≜MDボタンを押して操作パネルを開け、MDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。操作パネルが左へスライドしたら、MDのラベル面を右側に向けて、スロットに差し込んでください。

MDを入れると、自動的に操作パネルが閉まります。

ラベル面を右側に

矢印の向きに差し込む

本体表示窓
「TOC Reading」表示後、ディスク名が記録されているとき出る

2

MD►ボタンを押す。（本体ではMD►IIボタンを押す。）

再生が始まります。

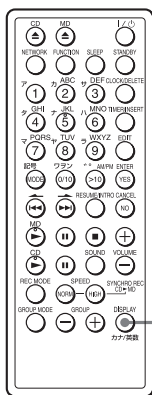
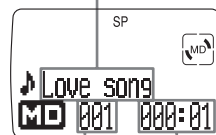
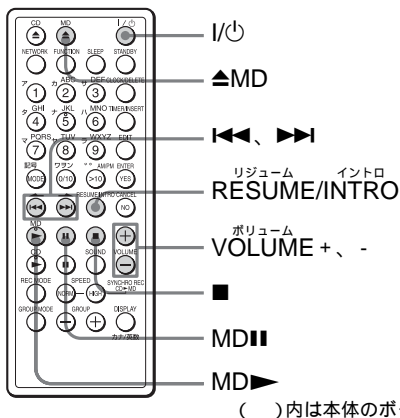
曲名が記録されているとき出る

曲番　曲の再生経過時間

その他の操作

（　）内は本体のボタンです。

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOLUME＋、－
再生を止める	■
再生中に一時停止する	MD❚❚（MD▶❚❚） もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	⏮ 短くポンと押す。
次の曲へ進む	⏭ 短くポンと押す。
MDを取り出す	⏏MD
電源を入/切する	I/⏻

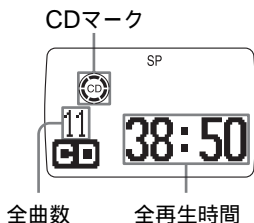
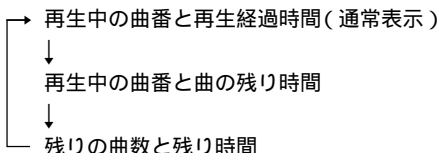
再生を停止した曲からもう一度再生する（リジューム再生機能）

MDの再生を一度止めても、もう一度その曲から再生を始めることができます。
RESUME/INTROボタンを押して「Resume On」を表示させます。停止中は表示窓に「R」と再生が始まる曲番が表示されます。
リジューム再生機能を解除するには、リモコンのRESUME/INTROボタンを押して「Resume Off」を表示させます。

ちょっと一言

- 録音された方法により、ステレオ再生／LP2ステレオ再生／LP4ステレオ再生／モノラル再生は自動的に切り換わります（17ページ）。
- MDが本体から飛び出た状態で⏏CDボタンや⏏MDボタンを押すと、操作パネルがMDにぶつかりますが、MDは傷付くことはありません。
- リジューム再生機能が「Resume On」に設定されているときにMDを取り出すか、停止中にもう一度■ボタンを押すと、次の再生は1曲目から始まります。

表示窓の見かた

表示窓で、CDまたはMDの全曲数や全再生時間を調べることができます。

CD停止中

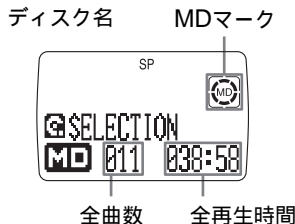
全曲数と全再生時間が表示されます。

CD再生中

再生中の曲番と曲の再生経過時間が表示されます。

残り再生時間を調べる

DISPLAYボタンを押します。押すたびに次のように表示が変わります。

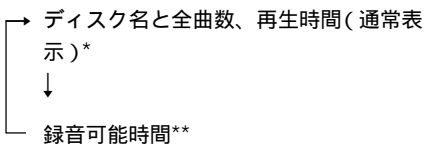
→ 再生中の曲番と再生経過時間（通常表示）
↓
再生中の曲番と曲の残り時間
↓
残りの曲数と残り時間

ご注意

リピート再生（25ページ）、シャッフル再生（26ページ）、プログラム再生（26ページ）のときは、残りの曲数と残り時間は表示されません。

MD停止中

ディスク名と全曲数、全再生時間が表示されます。

DISPLAYボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

→ ディスク名と全曲数、再生時間（通常表示）*
↓
録音可能時間**

* グループモードがONになっているときは（31ページ）、選んでいるグループ内の曲についての情報が表示されます。

** グループモードがONになっているときは（31ページ）、録音可能時間は表示されません。

ちょっと一言

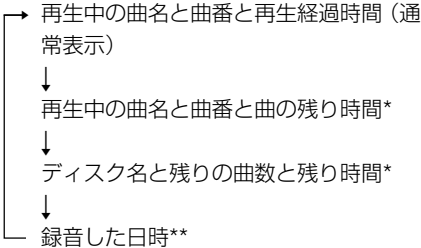
曲名、ディスク名、グループ名が表示されるのは、MDにそれぞれが記録されているときのみです。記録されていないときは表示されません。

MD再生中

再生中の曲名と曲番、再生経過時間が表示されます。

残り再生時間、録音日時などを調べる

DISPLAYボタンを押します。押すたびに次のように表示が変わります。

→ 再生中の曲名と曲番と再生経過時間（通常表示）
↓
再生中の曲名と曲番と曲の残り時間*
↓
ディスク名と残りの曲数と残り時間*
↓
録音した日時**

* グループモードがONになっているときは（31ページ）、再生しているグループ内の曲についての情報が表示されます。

** 時計を合わせておくと、録音したときに自動的に録音日時が記録されます（44ページ）。

ちょっと一言

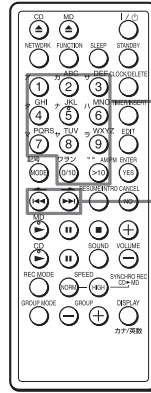
曲名、ディスク名、グループ名が表示されるのは、MDにそれぞれが記録されているときのみです。記録されていないときは表示されません。

ご注意

リピート再生（25ページ）、シャッフル再生（26ページ）、プログラム再生（26ページ）のときは、「ディスク名と残りの曲数と残り時間」は表示されません。

聞きたい曲を選ぶ

（ダイレクト選曲/サーチ）

CDまたはMDの聞きたい曲の再生を、数字／文字ボタンですぐに始めることができます。また、⏮、⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ（ダイレクト選曲）	曲番の数字／文字ボタンを押す。
聞きながら探す（サーチ）	再生中に⏮、⏭ボタンを押したままにする。指を離すと、そこから再生されます。
表示窓の再生時間を見ながら探す（高速サーチ）	一時停止中に⏮、⏭ボタンを押したままにする。指を離すと、その位置で一時停止になります。

ご注意

ダイレクト選曲の場合、表示窓に「REP PGM」「REP SHUF」「PGM」「SHUF」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

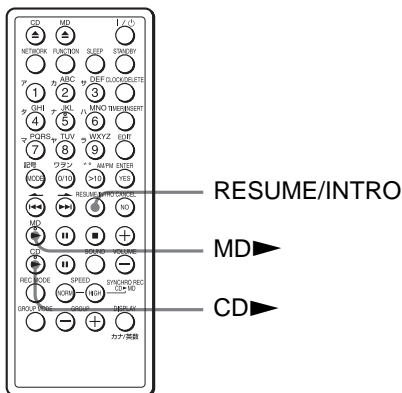
次のページへつづく

聞きたい曲を選ぶ（ダイレクト選曲/サーチ）（つづき）

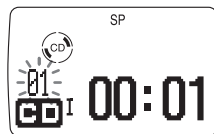
ちょっと一言

- 10曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタン（1～0）を押します。
  例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。
  10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
- MDで100曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを2回押したあと100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタンを押します。

曲の初めだけを順に聞く*（イントロ再生）*

CD、MDに入っている曲の最初の約10秒間を順に再生することができます。

聞きたい音源（CDまたはMD）の停止中に操作してください。

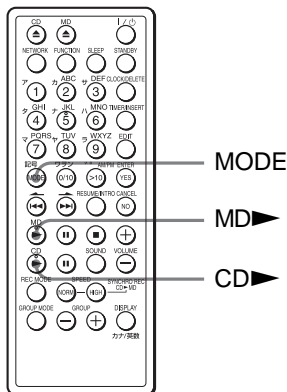
RESUME/INTROボタンを2秒以上押す。

表示窓に「I」が表示され、全曲のイントロ部分を約10秒ずつ再生します。

イントロ再生中の曲を最後まで再生するには

CD►（またはMD►）を押します。

繰り返し聞く
（リピート再生）

CDまたはMDを1曲だけ、または全曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル再生やプログラム再生を繰り返すこともできます。

リピートの種類	押すボタン
1曲だけ繰り返す	1 繰り返したい曲を再生する。 2 MODEボタンを押して「REP 1」を表示させる。
全曲を繰り返す	1 再生を始める。 2 MODEボタンを押して「REP」を表示させる。
順不同に繰り返す	1 シャッフル再生を始める（26ページ参照）。 2 MODEボタンを押して「REP」と「SHUF」を表示させる。
プログラムした曲順で繰り返す	1 プログラム再生を始める（26ページ参照）。 2 MODEボタンを押して「REP」と「PGM」を表示させる。

リピート再生をやめる

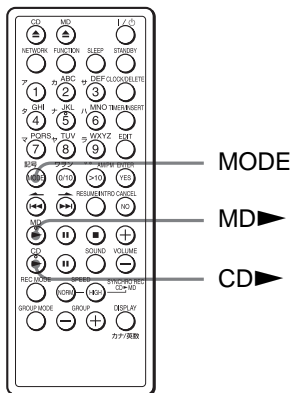
停止させてからMODEボタンを押して「REP」を消します。

ちょっと一言

停止中でもリピート再生にすることができます。MODEボタンを繰り返し押して「REP 1」、「REP」、「SHUF」と「REP」、「PGM」と「REP」を選びます。そのあとCDまたはMDを再生します。

順不同に聞く

（シャッフル再生）

CDまたはMDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

聞きたい音源（CDまたはMD）の停止中に操作してください。

1 **MODEボタンを押して「SHUF」を表示させる。**

2 **CD►（またはMD►）ボタンを押す。**

シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめる

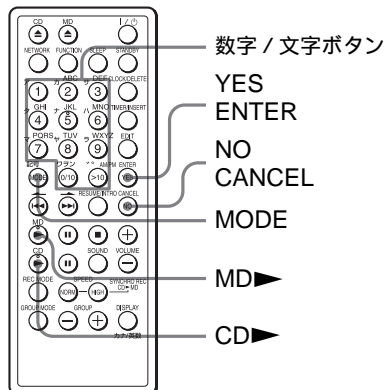
停止させてからMODEボタンを押して「SHUF」を消します。

ちょっと一言

- シャッフル再生中は⏮ボタンを押して前の曲に戻すことはできません。
- シャッフル再生ではリジューム再生（15、21ページ）はできません。

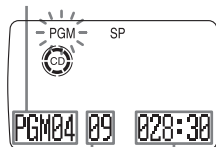
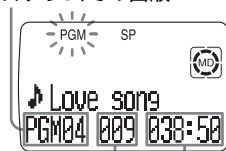
聞きたい曲を好きな順に聞く

（プログラム再生）

CDまたはMDを20曲まで聞きたい順にプログラムすることができます。

聞きたい音源（CDまたはMD）の停止中に操作してください。

1 **MODEボタンを押して「PGM」を表示させる。**

2 **聞きたい順に、曲番の数字／文字ボタンを押していく。**

（CDの場合）

プログラムでの曲順

選んだ曲番　**プログラム総時間**

（MDの場合）

この操作を繰り返します。

3 CD►（またはMD►）ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

ちょっと一言

- 曲番を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押してから、数字／文字ボタンで曲を選び直します。
- プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。►ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- CDを取り出すとCDのプログラムの内容が消え、MDを取り出すとMDのプログラムの内容が消えます。
- 再生中は、合計時間を表示することはできません。
- プログラム再生ではリジューム再生（15、21ページ）はできません。

プログラム再生をやめる

停止させてからMODEボタンを押して「PGM」を消します。

曲順を確認する

再生を始める前にYES•ENTERボタンを押します。
ボタンを押すたびにプログラムした順で曲番が表示されます。

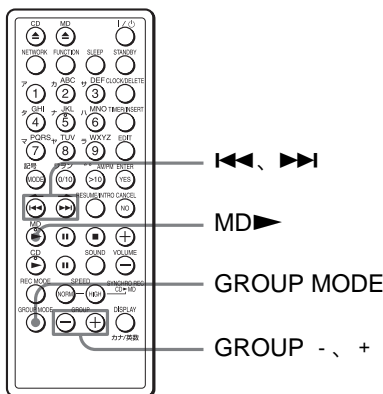
プログラムを変更する

再生を始める前に変更します。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す	1 NO•CANCELボタンを押す。最後にプログラムした曲が消えます。 2 プログラムし直す。
プログラムをし直す	1 ■ボタンを押してプログラムをすべて消す。 2 初めからプログラムをし直す。

CD•MD再生

MDのグループ内の曲を聞く

グループに登録したお気に入りの曲だけを聞くことができます。グループ機能について、詳しくは「グループ機能とは」（31ページ）をご覧ください。

MDの停止中に操作してください。

1 **GROUP MODEボタンを押して「GP」を表示させる。**

2 **GROUP ＋または－ボタンを押して聞きたいグループを選ぶ。**

3 **MD►ボタンを押す。**

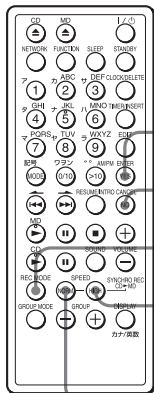
演奏が始まり、グループ内の最後の曲の再生が終わると、自動的に停止します。

こんなときは	押すボタン
前のグループに戻す	GROUP －
次のグループへ進む	GROUP ＋
前の曲へ戻す	⏮
次の曲へ進む	⏭

グループモードをOFFにするには

停止させてからGROUP MODEボタンを押して「GP」を消します。

ご注意

グループモードがONのときは、グループに登録されていない曲は表示、再生できません。

ちょっと一言

グループ内の曲でリピート再生、シャッフル再生、プログラム再生をすることができます。詳しくは（25～27ページ）をご覧ください。

CDの再生中の曲だけを録音する

（REC IT録音）

再生中の曲だけを、ボタンひとつでその曲の頭から録音できます。聞いている曲をすぐに録音したいとき便利です。

1 録音用MDを入れる。

2 録音するCDを入れ、録音したい曲を再生する。

3 REC MODEボタンを押して録音モードを選ぶ。

押すたびに表示窓に「SP」「LP2」「LP4」が順に表示されます。詳しくは17ページをご覧ください。

4 高速録音するには、HIGH SPEED SYNCHRO REC CD▶MD ボタンを押す。（音楽を聞きながら通常の速度で録音するには、NORM SPEED ボタンを押す。）

再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。
録音済みMDの場合、すでに録音してある部分の後ろに録音します。
録音を終えるとMDは自動的に停止しますが、CDの再生は続きます。
高速録音中はスピーカーやヘッドホンから音は出ません。

「--:-- Short」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。
再生中の曲を最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。
その他のメッセージが表示されたときは56、57ページをご覧ください。

ご注意

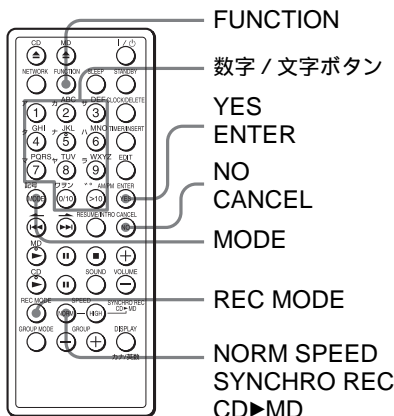
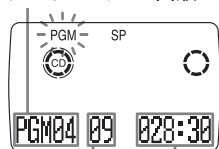
- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 高速録音についてのご注意は18ページをご覧ください。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（44ページ）。
- 録音中に曲名を付けることができます。39～42ページをご覧ください。

CDから好きな曲を選んで録音する

（プログラムシンクロ録音）

CDの好きな曲を好きな順番で20曲まで録音できます。

1 **録音用MDを入れる。**

2 **録音するCDを入れる。**

3 **FUNCTIONボタンを押して「CD」を表示させる。**

4 **MODEボタンを押して「PGM」を表示させる。**

5 **聞きたい順番に、曲番の数字／文字ボタンを押していく。**

プログラムでの曲順

選んだ曲番　**プログラム総時間**

6 **REC MODEボタンを押して録音モードを選ぶ。**

押すたびに表示窓に「SP」「LP2」「LP4」が順に表示されます。詳しくは17ページをご覧ください。

7 **NORM SPEED SYNCHRO REC CD▶MDボタンを押す。**

録音が始まります。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。

「--:-- Short」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。

プログラムした曲を最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。

その他のメッセージが表示されたときは56、57ページをご覧ください。

ご注意

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。
- プログラムシンクロ録音は、高速録音できません。

ちょっと一言

- 曲番を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押してから、数字／文字ボタンで曲を選び直します。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（44ページ）。
- 録音中に曲名、ディスク名、グループ名を付けることができます。39〜42ページをご覧ください。

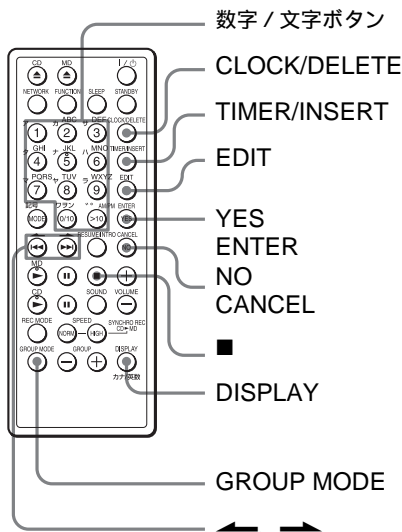
グループを作る

（グループ機能）

グループ機能とは

1枚のMDに録音された複数の曲を、いくつかのグループにまとめて再生、編集する機能です。CDアルバム別やアーティスト別などのグループに分けて管理するときに便利です。グループは、99まで設定することができます。

グループモードOFF時

グループモードON時

グループ情報の記録のされかた

グループ機能を使って編集すると、グループ情報は、「ディスク名」として自動的にMDに記録されます。具体的には次のような文字列がディスク名の記録領域に書き込まれます。

ディスク名の記録領域

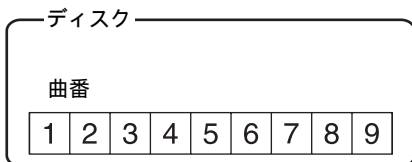
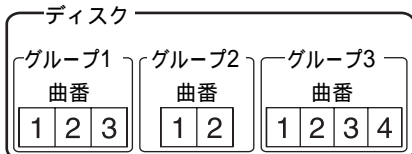
例） 0;Favorites//1-5;Rock//6-9;Pops//

①　②　③

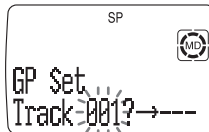
①ディスク名：「Favorites」
②1曲目から5曲目のグループ名：「Rock」
③6曲目から9曲目のグループ名：「Pops」

そのため、グループ機能を使って編集したMDを、グループ機能未対応機器やグループ機能を働かせていない対応機器で読み込むと、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。

ご注意

グループモードがONのときは、グループに登録されていない曲は表示、再生できません。

グループを設定する（グループセット）

1 **停止中にEDITボタンを繰り返し押して「GP Set」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。**

2 **◀━または━▶ボタンを押してグループの先頭にしたい曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。**

3 **◀━または━▶ボタンを押してグループの最後にしたい曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。**

次のページへつづく

グループを作る（グループ機能）（つづき）

4 **40ページの手順にしたがってグループ名をつける。**

5 **YES•ENTERボタンを押す。**

グループが設定されます。

新しいグループを作って録音する

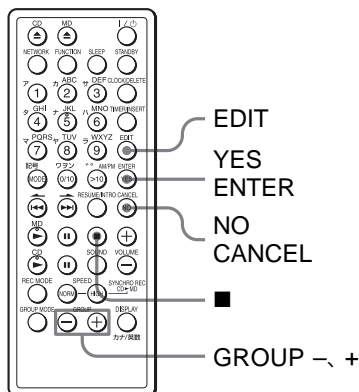
シンクロ録音している曲を新しいグループとして設定できます。

1 **CDをまるごと新しいグループに設定するときは、シンクロ録音（16ページ）を行う。**
好きな曲だけを選んで新しいグループに設定するときは、プログラムシンクロ録音（30ページ）を行う。

2 **EDITボタンを繰り返し押して「GP Name」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。**

3 **40ページの手順にしたがってグループ名を入力する。**

4 **名前をつけ終わったらYES•ENTERボタンを押す。**

グループ名が記録され、現在録音している全曲が一つのグループとして録音されます。

ご注意

- 途中で録音を止めると、そこまでが1つのグループとして記録されます。
- グループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

グループを解除する

（グループリリース機能）

グループ名を指定するだけで、グループ設定を簡単に解除することができます。

1 **停止中にEDITボタンを繰り返し押して「GP Release」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。**

2 **GROUP +または–ボタンを押して解除したいグループ名を表示させる。**

3 **YES•ENTERボタンを押す。**

「Release OK?」が表示されます。

中止するときは

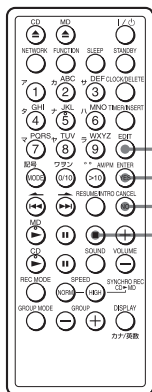
NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 **YES•ENTERボタンを押す。**

「TOC Edit」が消えたあと、グループが解除されます。

曲をグループに入れる *（グループイン機能）*

1 グループモードをOFFにして、グループに入れたい曲を再生する（28ページ）。

2 EDITボタンを繰り返し押して「GP In」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

3 GROUP +または–ボタンを押して曲を入れるグループ名を表示させる。

4 YES•ENTERボタンを押す。

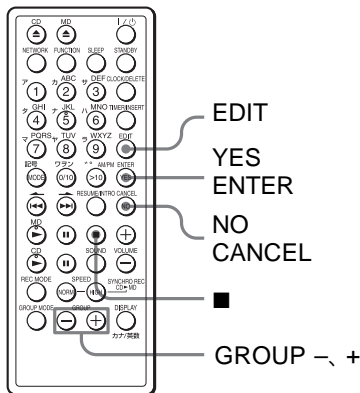
「GP In OK?」が表示されます。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

5 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、グループのいちばん後ろに曲が入ります。

ご注意

「Cannot Edit」が表示されたら、すでにグループに入っている曲をグループに入れようとしています。

MD編集

曲をグループから抜く

（グループアウト機能）

1 グループから抜きたい曲を再生する。

2 EDITボタンを繰り返し押して「GP Out」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

その曲が入っているグループ名が表示されます。

3 YES•ENTERボタンを押す。

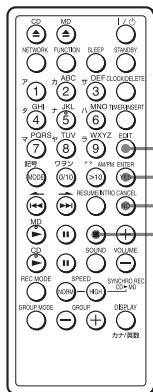
「GP Out OK?」が表示されます。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、グループから曲が抜かれます。

ご注意

- 「Cannot Edit」が表示されたら、グループに入っていない曲をグループから抜こうとしています。
- グループ内の曲をすべてグループから抜くと、グループは消えます。

曲を消す（イレース機能）

録音した曲を瞬時に消すことができます。また、カセットテープのように消した部分が無音のまま残ることもありません。

曲を消す方法には3種類があります。

- 1曲ずつ消す
- 1枚のMDのすべての内容を消す
- グループごと消す

1曲ずつ消す

1曲まるごと消せます。曲を消すと、次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。

1 消したい曲を再生する。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Track Erase」を表示させる。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「Erase OK?」が表示され、1曲リピート再生になります。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 **YES•ENTERボタンを押す。**
「Complete」が数秒間表示され、再生中の曲が消えます。

ご注意
グループ内の曲をすべて消すと、グループも消えます。

1枚のMDのすべての内容を消す

一度に、MDの中の全曲と全曲名、ディスク名を消すことができます。消したあとは新しいMDと同じように使えます。

1 **停止中、EDITボタンを繰り返し押して「All Erase」を表示させる。**

2 **YES•ENTERボタンを押す。**
「Erase OK?」が表示されます。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは
NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

3 **YES•ENTERボタンを押す。**
「TOC Edit」が消えたあと、「Blank Disc」が表示され、入れてあるMDの内容がすべて消えます。

グループごと消す

一度に、グループ内の全ての曲を消すことができます。

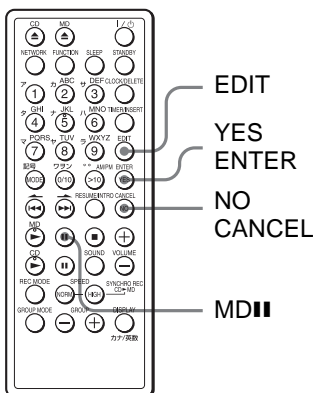
1 **停止中、EDITボタンを繰り返し押して「GP Erase」を表示させる。**

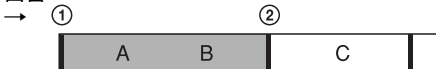
2 **YES•ENTERボタンを押す。**
グループ名が表示されます。

3 **GROUP +または–ボタンを押して消したいグループのグループ名を表示させる。**

4 **YES•ENTERボタンを押す。**
「Erase OK?」が表示されます。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは
NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

5 **YES•ENTERボタンを押す。**
「TOC Edit」が消え、登録されていたグループが全て消えます。

ご注意
- 「Protected」が表示されたら、そのディスクは誤消去防止状態になっています（56ページ）。
- パソコンからチェックアウト（48ページ）した曲を本機で消すことはできません。グループやMDの全曲を消す場合も、チェックアウトした曲が1曲でも含まれていると消すことができません。「Trk Protect」が表示されます。
詳しくは別冊の「パソコンでNet MDを使ってみよう！」と電子マニュアルの「SonicStage Ver.1.5ヘルプ」をご覧ください。
- TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。** 正しく記録されないことがあります。

MD編集

曲を2つに分ける

（ディバイド機能）

1つの曲を2つに分け、それぞれに頭出しのための曲番を付けることができます。分けた曲以降の曲番は自動的に連続した曲番が付きます。

例）1つの曲をA、Bに分ける

1 再生中、曲を分けたいところでMD❚❚ボタンを押す。

再生一時停止状態になります。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Divide」を表示させる。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「Divide OK?」が表示されます。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

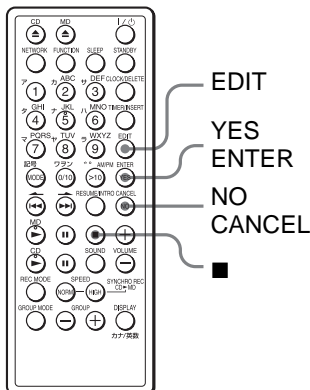
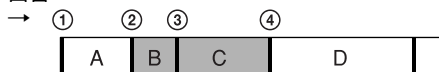
4 YES•ENTERボタンを押す。

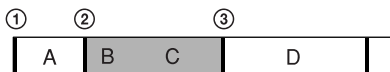
「Complete」が数秒間表示され、曲が分かれます。分ける前に付いていた曲名は、前の曲だけに付き、後の曲には曲名が付きません。

ちょっと一言

一度分けた曲を元に戻すには「2つの曲を1つにする」（37ページ）をご覧ください。

ご注意

- 「Sorry」が表示されたらその曲を分けることはできません。
  MDは何度も編集を繰り返すと分けられなくなることがあります。これは、MDのシステム上の制約（64、65ページ）で、故障ではありません。
- パソコンからチェックアウト（48ページ）した曲を2つに分けることはできません。「Trk Protect」が表示されます。
  詳しくは別冊の「パソコンでNet MDを使ってみよう！」と電子マニュアルの「SonicStage Ver.1.5ヘルプ」をご覧ください。
- TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

2つの曲を1つにする

（コンバイン機能）

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめることができます。つないだ曲以降の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。

例）B曲とC曲をつなぐ

1 つなぎたい曲を再生する。

例えばB曲とC曲をつなぐときは、C曲を再生します。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Combine」を表示させる。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「Combine OK?」が表示され、再生一時停止になります。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

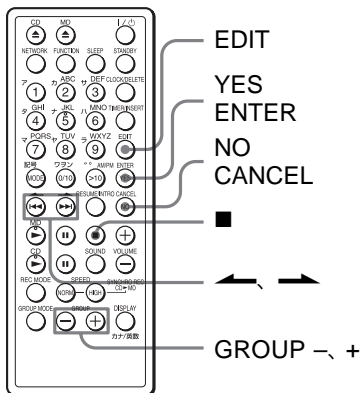
「Complete」が数秒間表示され、曲がつながります。つないだ2曲両方に曲名が付いている場合は、後の曲名が消えます。

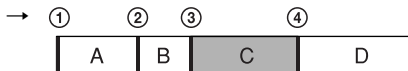
ご注意

- 「Sorry」が表示されたら、その2曲はつなぐことができません。
  MDは何度も編集を繰り返すと、つなげなくなることがあります。これはMDのシステム上の制約（64、65ページ）で、故障ではありません。
- 「Cannot Edit」が表示されたら、MDの1曲目でコンバインされようとしています。コンバイン機能は使えません。
- パソコンからチェックアウト（48ページ）した曲を別の曲とつなぐことはできません。「Trk Protect」が表示されます。
  詳しくは別冊の「パソコンでNet MDを使ってみよう！」と電子マニュアルの「SonicStage Ver.1.5ヘルプ」をご覧ください。
- 別々のグループに設定されている曲をつなぐことはできません。
- ステレオ録音した曲とLP2ステレオ録音、LP4ステレオ録音した曲など、異なる録音モードで録音された曲をつなぐことはできません。
- TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。** 正しく記録されないことがあります。

曲順を変える

（ムーブ機能）

曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。

曲の順番を変える

例）C曲を1曲目に移動する

移動する

C曲を1曲目に移動する

1　移動させたい曲を再生する。

2　EDITボタンを繰り返し押して「Track Move」を表示させる。

3　YES•ENTERボタンを押す。

「Track 003→001?」が表示され、1曲リピート再生になります。

4　◀━または━▶ボタンを押して移動先の曲番を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

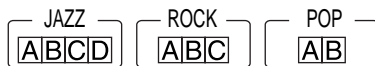
中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

5　YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、曲が移動します。

ご注意

移動させたい曲がグループに設定されている場合、移動先が制限されます。移動できる曲番のみが手順4に表示されます。

グループの順番を変える

例）「JAZZ」グループを「ROCK」グループの前に移動する。

1　EDITボタンを繰り返し押して「GP Move」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

2　GROUP +または–ボタンを押して移動させたいグループ名を表示させる。

「JAZZ→」を表示させます。

3　YES•ENTERボタンを押す。

4 GROUP ＋または－ボタンを押して移動先のグループ名を表示させる。

「→[folder icon]ROCK」を表示させます。

5 YES•ENTERボタンを押す。

「GP Move OK?」が表示されます。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

6 YES•ENTERボタンを押す。

「TOC Edit」が消え、グループが移動します。

ご注意

TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

曲名•ディスク名•グループ名を付ける

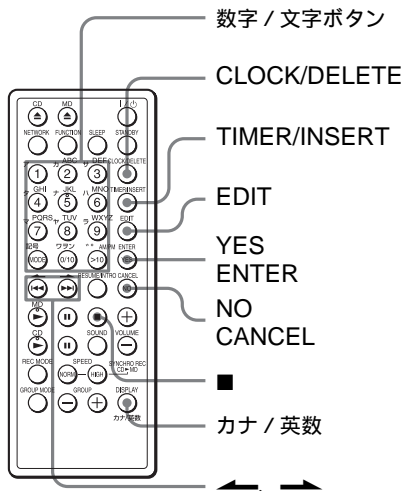
（ネーム機能）

録音中または録音後に、曲名、ディスク名やグループ名を記録することができます。
1枚のディスクにはアルファベット／数字／記号で最大約1700文字、カタカナ文字のみで最大約800文字まで入力できます。
本機で入力できるのは、下記の文字（半角文字）のみです。漢字やひらがななどの文字（全角文字）は、付属のSonicStageソフトウェアを使って入力できます。
詳しくは別冊の「パソコンでNet MDを使ってみよう！」と電子マニュアルの「SonicStage Ver.1.5ヘルプ」をご覧ください。

入力できる文字

- **カタカナ**
  アイウエオ……ャュョッ
- **アルファベット大文字**
  ABCD……WXYZ
- **アルファベット小文字**
  abcd……wxyz
- **数字・記号**
  0123456789!"#$%&()＊.；＜＝＞?@_`
  ＋－’，／：␣（スペース）

次のページへつづく

曲名・ディスク名・グループ名を付ける（ネーム機能）（つづき）

録音中に付ける

CDから録音するとき、シンクロ録音（16ページ）、プログラムシンクロ録音（30ページ）中には曲名、ディスク名、グループ名が、REC IT録音（29ページ）中には曲名のみが付けられます。

CDからのシンクロ録音、プログラムシンクロ録音の場合

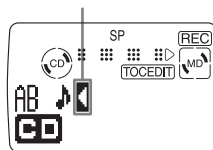
曲名、ディスク名、グループ名をそれぞれ50文字まで付けられます。曲名は25曲目まで記録できます。26曲目以降は録音後に付けてください（41ページ参照）。

1 **録音中にEDITボタンを押して「Track Name」、「Disc Name」または「GP Name」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。**

曲名を付ける場合：
　「Track Name」
ディスク名を付ける場合：
　「Disc Name」
グループ名を付ける場合：
　「GP Name」

2 **曲名の場合：**
◀━または━▶ボタンを押してCDの曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。
ディスク名、グループ名の場合：手順3へ進む。

3 **文字を入力する。**

① カナ／英数ボタンで文字入力モード（「カタカナ」または「英字・数字」）を選ぶ。
- カタカナ入力モード：
  「カナ」が表示窓に点灯します
- 英字・数字入力モード：
  「AB」が表示窓に点灯します

② 数字／文字ボタンで名前を入力する（39〜42ページ参照）。
③ ━▶ボタンでカーソルを右に移動させる。

文字の削除や追加には以下のボタンを使います。

ボタン	機能
◀━、━▶	カーソルを左右に移動する。
CLOCK/DELETE	文字を消す
TIMER/INSERT	空白を挿入する

4 **手順3を繰り返し、名前を付ける。**

5 名前を付け終わったら YES•ENTERボタンを押す。
曲名、ディスク名、グループ名が記録されます。

CDからのREC IT録音の場合
曲名のみ50文字まで記録できます。

1 録音中にEDITボタンを押す。
曲名入力表示になります。

2 40ページの手順3〜4にしたがって、名前を付ける。

3 名前を付け終わったら YES•ENTERボタンを押す。
曲名が記録されます。

録音後に付ける

録音後に曲名、ディスク名、グループ名を付けるには、次のように操作します。それぞれ約100文字まで付けられます。

1 曲名の場合：曲名を付けたい曲を再生する。
ディスク名、グループ名の場合：MDを入れて停止状態にする。

2 EDITボタンを押して「Track Name」または「Disc Name」、「GP Name」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。
曲名を付ける場合：
　「Track Name」
ディスク名を付ける場合：
　「Disc Name」
グループ名を付ける場合：
　「GP Name」

3 40ページの手順3〜4にしたがって、名前を付ける。

4 名前を付け終わったら YES•ENTERボタンを押す。
曲名、ディスク名、グループ名が記録されます。

名前を変更する
手順1〜2を行って、変更したい曲名、ディスク名、グループ名を表示させます。変更したい名前の上から新しい名前を入力し、YES•ENTERボタンを押します。

ちょっと一言
すでに曲名、ディスク名、グループ名が記録されているMDのときは、文字入力時に曲名やディスク名、グループ名が表示されます。必要があれば40ページの手順3〜4にしたがって名前を変更してから、YES•ENTERボタンを押して確定してください。

ご注意
- グループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- LP2、LP4で録音した曲は、自動的に「LP:」が曲名の頭についています。
- TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。** 正しく記録されないことがあります。

MD編集

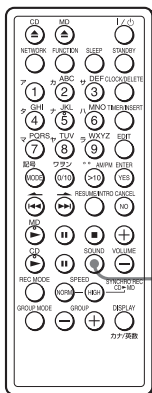
次のページへつづく

入力できる文字について

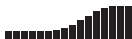
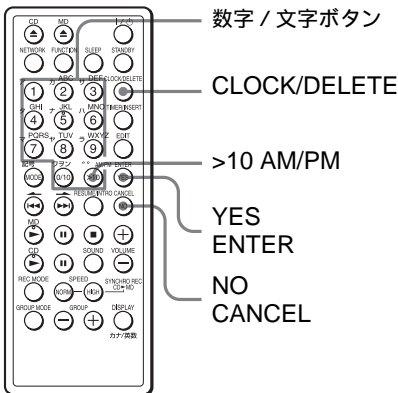
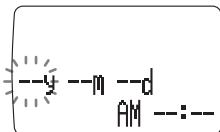
数字／文字ボタンの各ボタンに文字が割り当てられ、ボタンを押すたびに以下の順に文字が変わります。

ボタン	カタカナ入力（「カナ」表示）	英字・数字入力（「AB」表示）
1**ア**	ア→イ→ウ→エ→オ ァ←ィ←ゥ←ェ←ォ←	1
2**カ**ABC	カ→キ→ク→ケ→コ	A→B→C→a→b→c→2
3**サ**DEF	サ→シ→ス→セ→ソ	D→E→F→d→e→f→3
4**タ**GHI	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	G→H→I→g→h→i→4
5**ナ**JKL	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	J→K→L→j→k→l→5
6**ハ**MNO	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	M→N→O→m→n→o→6
7**マ**PQRS	マ→ミ→ム→メ→モ	P→Q→R→S→p→q→r→s→7
8**ヤ**TUV	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	T→U→V→t→u→v→8
9**ラ**WXYZ	ラ→リ→ル→レ→ロ	W→X→Y→Z→w→x→y→z→9
0/10**ワヲン**	ワ→ヲ→ン	0
>10 ゛゜	゛→゜	――
記号	!→"→#→$→%→&→(→)→*→.→;→<→= ←:←/←,←’←-←+←‘←_←@←?←>←	

好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。

サウンド効果を楽しむ

SOUNDボタンを押す。
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。
希望の音質を選んでください。

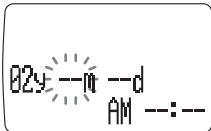
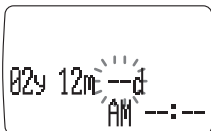
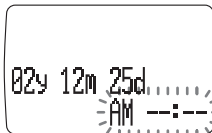
表示	音質
	ロックなどに。 重低音と高音域を増強し、メリハリのきいた迫力のサウンドになります。
	ポップスなどに。 中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。
	ジャズなどに。 低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。
	ボーカルを聞きたいときに。 中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。
	クラシックなどに。 ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適しています。

時計を合わせる

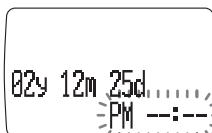
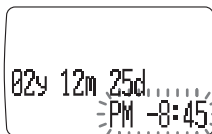
本機の時計表示は、時計を合わせるまで「– –:– –」のままです。
時計を合わせておくと、録音したとき、自動的に録音日時が記録されます。

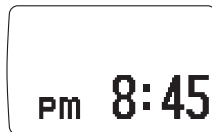
1 西暦年の数字が点滅するまで、CLOCK/DELETEボタンを押したままにする。

2 年月日を合わせる。

例）2002年12月25日の場合

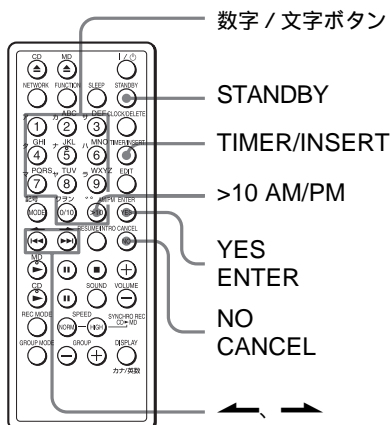
① 数字／文字ボタンを押して「年」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。

② 数字／文字ボタンを押して「月」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。

③ 数字／文字ボタンを押して「日」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。

3 時刻を合わせる。

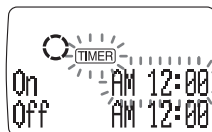
① 数字／文字ボタンの＞10 AM/PMボタンを押して「AM」か「PM」を合わせる。

② 数字／文字ボタンを「時」「分」の順に押す。
例）8:45のときは、8→4→5の順に押します。

4 YES• ENTERボタンを押す。

00秒から時計が動きます。

ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
  真夜中：「AM12:00」
  正午　：「PM12:00」
- 設定を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

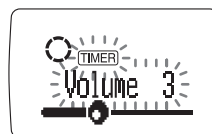
音楽で目覚める

タイマー機能を使って、好きなCDやMDを目覚まし代わりにすることができます。本機の時計合わせを行ってから操作してください（44ページ参照）。

表示窓に「TIMER」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
MD	MDを入れる。
CD	CDを入れる。

2 TIMER/INSERTボタンを押す。

「TIMER」が点滅します。
このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

3 ◀━または━▶ボタンを押して聞きたい音源（「MD Play」か「CD Play」）を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

4 再生を始める時刻を設定する。

① 数字／文字ボタンの＞10 AM/PMボタンを押して「AM」か「PM」を合わせる。

② 数字／文字ボタンを「時」「分」の順に押す。
例）6:45のときは、6→4→5の順に押します。

③ YES•ENTERボタンを押す。

5 同じように再生を止める時刻を設定する。

6 ◀━または━▶ボタンを押して希望の音量を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

7 STANDBYボタンを押す。

「TIMER」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に再生が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

タイマー

次のページへつづく

予約した内容を確かめたり、変更する

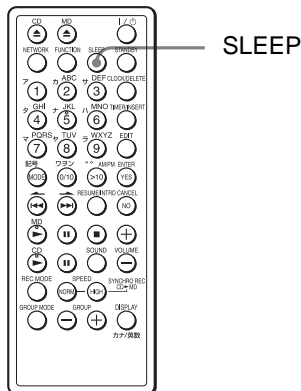
TIMER/INSERTボタンを押してから、YES•ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

予約したあとで他の音源を聞く

電源を入れれば、通常の操作ができます。
予約した時刻になる前に電源を切ります。

タイマー再生を途中で止める

I/⏻ボタンを押して電源を切ります。

ちょっと一言

- 設定を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので設定し直してください。
- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「TIMER」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- ⏲はタイマーで動作中であることを示す表示です。

ご注意

本機に別売りのスピーカーを接続してお使いの場合は、スピーカーの電源を入れておいてください。

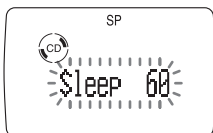
音楽を聞きながら眠る（スリープ機能）

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

1 聞きたい音楽の演奏を始める。

2 SLEEPボタンを押して、「Sleep」を表示させる。

3 SLEEPボタンを押して時間（分）を選ぶ。

「60」→「90」→「120」→「Off」→「10」→「20」→「30」と変わります。

SLEEPボタンを押してから約4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。
表示窓のバックライト照明が消え、スリープ時間がカウントダウンを始めます。
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止める

SLEEPボタンを押して「Sleep Off」を表示させます。

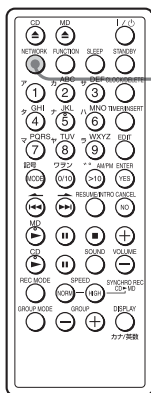
スリープ時間を変更する

手順2からやり直してください。

ちょっと一言

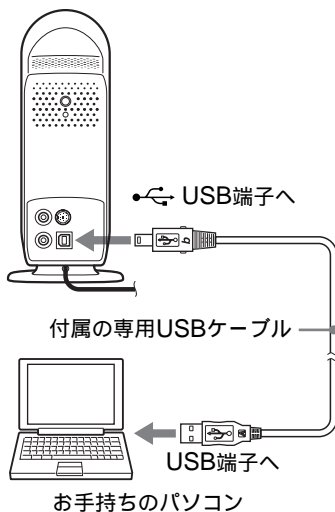
- 目覚ましタイマーとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましタイマーを予約待機状態にしてから（45ページ参照）、電源を入れスリープ機能を働かせます。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音量を設定できます。たとえば、小さい音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。
- 本機に別売りのスピーカーを接続してお使いの場合は、スピーカーの電源は自動的には切れません。

パソコンからMDに音楽を転送する（チェックアウト）

本機を付属の専用USBケーブルでパソコンに接続し、音楽データをMDに転送（チェックアウト）することができます。

1 付属のCD-ROMを使ってソフトウェア「SonicStage Ver.1.5」をパソコンにインストールし、パソコンに音楽データを取り込む。

詳しくは別冊の「パソコンでNet MDを使ってみよう！」をご覧ください。

> **ご注意**
> 本機を初めてパソコンに接続するときは、接続前に、必ず付属のCD-ROM を使用してソフトウェア「SonicStage」と「Net MDドライバ」をインストールしてください。

2 本機とお手持ちのパソコンを付属の専用USBケーブルでつなぐ。

3 NETWORKボタンを押して「Net MD」を表示させる。

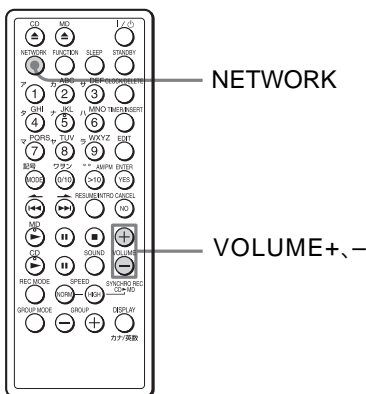
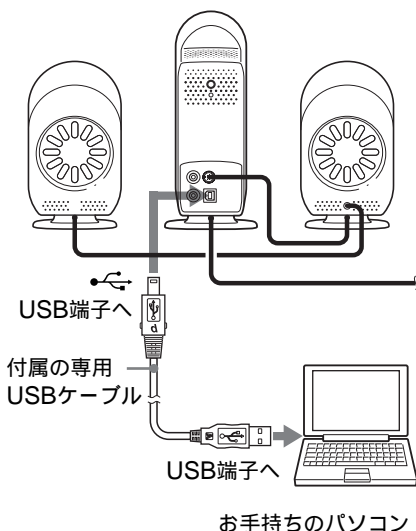
4 音楽データをMDに転送する（チェックアウト）。

操作の方法は別冊の「パソコンでNet MDを使ってみよう！」をご覧ください。

ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USBケーブルのみで接続してください。
- パソコンとつないで使わないときには、本機から付属の専用USBケーブルを抜いておいてください。

つないだパソコンの音を聞く（USBスピーカー機能）

本機を付属の専用USBケーブルでパソコンに接続し、パソコンのハードディスクで再生している曲を本機に接続したスピーカーで聞くことができます。

1 本機とお手持ちのパソコンを付属の専用USBケーブルでつなぐ。

2 NETWORKボタンを押して「USB ◁」を表示させる。

3 パソコンにデバイスドライバー（USB互換デバイス、USBオーディオデバイス）をインストールする。

デバイスドライバーはWindowsに含まれています。パソコンの画面に従ってインストールしてください。
詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 パソコンで音楽を再生する。

演奏が始まります。
VOLUME +または–ボタンを押して、音量を調節します。

ご注意

- 2回目以降の接続では上記手順3のインストール作業は必要ありません。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証は致しかねます。必ず付属の専用USBケーブルのみで接続してください。
- パソコンとつないで使わないときには、本機から付属の専用USBケーブルを抜いておいてください。
- USBスピーカーで再生中に、USBケーブルを抜いたり、電源を切らないでください。
- 接続したパソコンの特性により、再生中に雑音が入ったり、パソコンが正常に動作しないことがあります。
- Transmeta Crusoeプロセッサ搭載のパソコンでは、USBスピーカー機能が正常に動作しないことがあります。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本機と他の機器をつないで使う際は、接続コード類に足などを引っ掛けないようご注意ください。
- 操作パネルを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機に付属のスピーカー（LAM-Z10のみ）は防磁型になっていますが、次のようなものはスピーカーの前面や側面に置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  – 時計
  – クレジットカードなどの磁気カード
  – カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
  また、テレビやモニターの画像が乱れる場合は、スピーカーを離してお使いください。

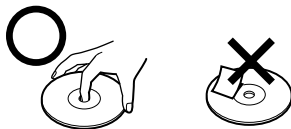
本体のお手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きします。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- CD-R/CD-RWについて
  本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
  * CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。
- 著作権保護技術付音楽ディスクについて
  本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

CDのお手入れのしかた

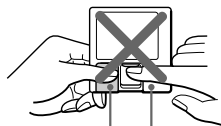
- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

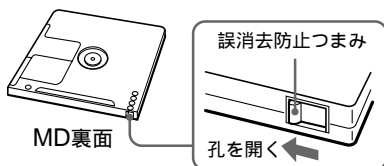
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことをご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合はすぐに閉めてください。

ラベルは所定の場所に貼ってください

MDに付属のラベルは、シャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。

MDのお手入れのしかた

定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

録音内容を間違って消さないために

誤消去防止つまみをずらして、孔の開いた状態にします。
再び録音するときは、つまみを元に戻します。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは、67ページに記載されているお客様ご相談センターにご相談ください。

共　通

症状	チェック項目
音が出ない。	• I/⏻ボタンを押して電源を入れる。 • 電源コードをコンセントにしっかり差し込む。 • 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧 PHONES端子から抜く。 • 「TOC Reading」が消えるまで待つ。 • 専用スピーカー接続コードをしっかりと差し込む。
雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 ➔ 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

症状	チェック項目
再生が始まらない。	• CDが入っていることを確認する。
ディスクの1曲目から再生しない。	• リジューム再生機能が働いている。 ➔ RESUME/INTROボタンを押して、「Resume Off」を表示させる。
CDが入っているのに「READ Error」が表示される。	• CDを入れる向きが違う。 ➔ 文字のある面を左側にする。 • CDの汚れがひどい。 ➔ クリーニングする。(50ページ) • レンズに露(水滴)がついている。 ➔ CDを取り出して操作パネルを開けたまま数時間置く。 • ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 • 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。(50ページ)
音がとぶ。 雑音が入る。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい。 ➔ クリーニングする。(50ページ)

症状	チェック項目
音がとぶ。 雑音が入る。	• CDに傷がある。 → CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。

MD部

症状	チェック項目
「REC Error」、「READ Error」、「TOC Error」が表示され、操作を受け付けない。	• MDが汚れているか損傷している。 → 新しいMDと交換する。
再生経過時間や残り時間が「– – –:– –」と表示される。	• 本機は999分59秒までしか表示できません。それより長い時間の場合は「– – –:– –」が表示されます。
再生できない。	• 内部のレンズに露(水滴)がついている。 → MDを取り出して数時間置く。 • MDを入れる向きが違う。 → MDのラベル面を右側にして入れる。 → MDを矢印の向きに入れる。 • 何も録音されていないMDが入っている。(「Blank Disc」が表示されている) → 録音済みのMDと交換する。
ディスクの1曲目から再生しない。	• リジューム再生機能が働いている。 → RESUME/INTROボタンを押して、「Resume Off」を表示させる。 • グループモードがONになっている。 → グループモードをOFFにしてからもう一度再生する。
録音できない。	• MDが誤消去防止状態になっている。(「Protected」が表示されている) → MDの誤消去防止つまみを戻して孔を閉じる。 • その曲が誤消去防止状態になっている。(「Trk Protect」が表示されている) → 誤消去防止状態にしたMDレコーダーで解除する。 • 再生専用MDが入っている。(「PB DISC」が表示されている) → 録音用MDと交換する。 • MDの録音できる残り時間が足りない。 → 不要な曲を消すか、別のMDと交換する。 • 録音中や「TOC EDIT」表示中に停電があった、または電源コードが抜かれた。 → 初めから録音し直す。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、MDに録音できない場合があります。

次のページへつづく

症状	チェック項目
高速録音できない。	● 一度高速録音した曲は、その後74分間は高速録音できません。（65ページ） ● MDの録音できる残り時間が1曲分ないため、高速録音はできません。（「Error」が表示されている） ● CD-RWからは高速録音できません。
録音した音がとぶ。 録音した音に雑音が入る。	● 録音したときの音量が大きかった。 ➔ 音量を下げて録音する。 ● 汚れがひどいCDを高速で録音した。 ➔ 通常の速度で録音してください。
高速録音したはずの曲が録音できていない。	● 曲の途中で録音を止めると、その曲は録音されません。
他機種で編集ができない。	● ステレオ長時間録音モードに対応していない機器で編集しようとした。 ➔ 本機、または他のステレオ長時間録音モードに対応している機器で編集する。
録音時、瞬間的なノイズが発生する。	● LP4ステレオ録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する。 ➔ SPステレオ録音またはLP2ステレオ録音を行う。

パソコンとの接続

症状	チェック項目
音が出ない／小さい。	● パソコンの音量を最大（MAX）にする。
本機の表示窓に「Net MD OFF」や「USB◁ OFF」が表示される。	● 本機側またはパソコン側のUSBケーブルが抜けている。 ➔ USBケーブルをしっかりと差し込んでください。
パソコンに接続したとき、本機がパソコンに認識されない。	● パソコン側のUSBケーブルが抜けている。 ➔ USBケーブルを挿し直してください。 ● ドライバーのみインストールしてください。 ➔ 詳しくは「パソコンでNet MDを使ってみよう！」をご覧ください。
接続中の動作が不安定。	● USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している。 →動作の保証はできません。付属の専用USBケーブルのみで直接パソコンと接続してください。

タイマー（時計）部

症状	チェック項目
タイマーが働かない。	• 時計を正しい時刻に合わせる。（44ページ） • 停電があった。 •「TIMER」表示が出ていることを確認する。 • タイマーの開始時刻と終了時刻が同じになっている。 ➔ 設定時刻を合わせ直す。

リモコン

症状	チェック項目
リモコンで操作ができない。	• リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（11ページ） • リモコンを本体へ向けて操作する。 • 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 • 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。**上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、本体の■を押したまま、VOLUMEつまみを−方向に回し、HIGH SPEED RECボタンを押し、VOLUMEつまみを＋方向に回してください。**（時計やタイマーがお買い上げ時の設定になりますので、必要に応じて設定し直してください）。それでもまだ正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

エラーメッセージ一覧

本機を使用中、状況によって表示窓にメッセージが表示されます。意味は以下の通りです。

メッセージ	意味
Blank Disc	• 何も録音されていない録音用MDが入っている。
Cannot Edit	• MDの1曲目でコンバイン機能を使おうとした。 • 別々のグループに設定されている曲でコンバイン機能を使おうとした。 • グループを設定していないのに、グループに関わる編集をしようとした。 • すでにグループに入っている曲で、グループイン機能を使おうとした。 • グループに入っていない曲で、グループアウト機能を使おうとした。
REC Error	• 正しく録音できなかった。 ➔ 振動のない場所で録音をやり直す。 • ひどい汚れや傷のあるMDを使っている。規格外のMD（録音や編集などの情報が正しく入っていない）を使っている。 ➔ MDを交換して録音をやり直す。
READ Error	• ひどい汚れや傷のあるMDを使っている。 ➔ MDを交換する。 • ひどい汚れや傷のあるCDを使っている。 ➔ CDをクリーニングする。 ➔ CDを交換する。
TOC Error	• 規格外のMD（録音や編集などの情報が正しく入っていない）を使っている。 ➔ MDを交換する。
Disc Full	• MDの残り時間が少ないため、録音できない。曲がいっぱいでこれ以上録音、編集できない。（64、65ページ）
Error	• MDの録音できる残り時間が1曲分ないため、高速録音できない。 • プログラム再生で21曲プログラムしようとした。プログラムは20曲までできる。 • CDのシャッフル再生をシンクロ録音することはできません。 • CDにひどい汚れや傷があり、正しく録音できなかった。 ➔ CDをクリーニングする。 ➔ CDを交換する。 • 時計合わせをしていないのに、タイマー機能のSTANDBYボタンを押した。
Gp Full	• グループを設定できるのは99グループまでです。

Name Full	• 記録済みの曲名、ディスク名やグループ名がいっぱいで入力できない。(39ページ) → 不要な文字を消す。
No Disc	• MDまたはCDが入っていない。
No MD	• MDが入っていない。(シンクロ録音などの場合)
PB Disc	• 再生専用MDを使っている。
Protected	• MDが誤消去防止状態になっている。(51ページ)
Sorry	• MDのシステム上の制約により、編集することはできません。(64、65ページ)
Trk Protect	• 他のMDレコーダーでトラックプロテクト(曲の誤消去、編集防止機能)をかけた曲を録音や編集しようとした。 • パソコンからチェックアウトした曲は、イレース機能、ディバイド機能、コンバイン機能の編集はできません。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウフラッター	測定限界以下（JEITA*）
周波数特性	20〜20,000Hz+1/−2dB（JEITA）

MDプレーヤー部

型式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	非接触光学読み取り（半導体レーザー使用）
レーザー	半導体レーザー（λ＝780nm）
録音再生時間	最大160分（MDW-80使用、LP2時） 最大320分（MDW-80使用、LP4時） LP2：2倍長時間録音・再生 LP4：4倍長時間録音・再生
回転数	約400rpm〜900rpm（CLV）
エラー訂正方式	アドバンスド　クロスインターリーブ　リード　ソロモンコード（ACIRC）
サンプリング周波数	44.1kHz
コーディング	ATRAC（アダプティブ　トランスフォーム　アコースティックコーディング） ATRAC3−LP2 ATRAC3−LP4
変調方式	EFM
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20〜20,000Hz+1/−2dB
ワウフラッター	測定限界以下

スピーカー部（LAM-Z10のみ）

型式	フルレンジ　パッシブラジエータ型
使用スピーカー	直径80mm防磁型
インピーダンス	3.2Ω
定格入力	4W
最大外形寸法	約99×175×166mm（幅×高さ×奥行き）（最大突起部を含む）（JEITA）
質量	左：約850g 右：約790g
実効出力	2W+2W (JEITA)
出力端子	R OUT（ステレオミニジャック）1個
入力インピーダンス	6.4kΩ (1kHz)

共通部

入出力端子	USB
出力端子	PHONES（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16〜68Ω AUDIO OUT（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 4.7kΩ以上
電源	本体 家庭用電源（AC100V 50/60Hz） リモコン部 リチウム電池　1個使用（DC3V）
消費電力	LAM-10：10.5W LAM-Z10：15W
最大外形寸法	約86×207×198mm（幅×高さ×奥行き）（最大突起部を含む）（JEITA）
質量	約1.1kg
付属品	リモコン (1) 専用USBケーブル (1) CD-ROM (1) 取扱説明書・保証書 (1) SonicStage Ver.1.5 簡単ガイド (1) カスタマー登録のご案内 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)

別売りアクセサリー

アクティブスピーカー
SRS-Z500、SRS-Z750
SRS-Z1、SRS-D313
SRS-Z1000
ステレオヘッドホン
MDRヘッドホンシリーズ

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

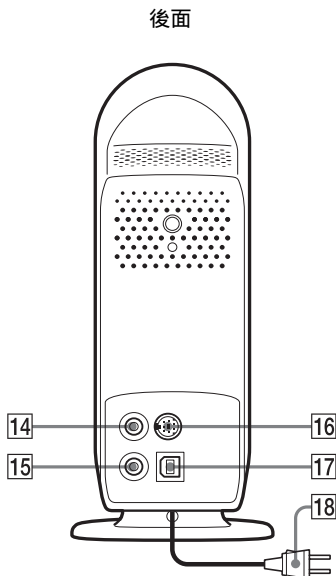
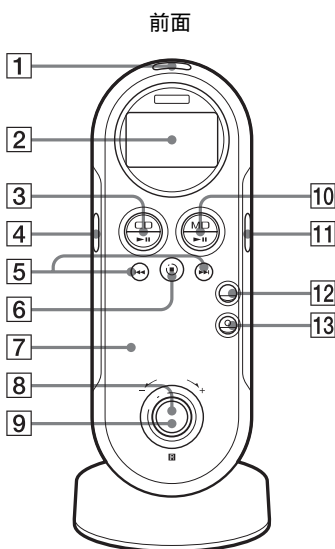
当社ではNet MDデスクトップオーディオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

各部のなまえと働き

くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

前面

後面

1 **I/⏻（電源）スイッチ**

2 **表示窓**

3 **CD▶II（再生／一時停止）ボタン***

4 **⏏（CD取り出し）ボタン**

5 **⏮、⏭（AMS／サーチ）ボタン**
CD、MDの曲の頭出しをします(15、21)。
再生中にボタンを押し続けると、曲中の好きなところを探すことができます(23)。

6 **■（停止）ボタン**

7 **操作パネル**

8 **リモコン受光部**

9 **VOLUME（音量）つまみ****（VOLUME：ボリューム）

10 **MD▶II（再生／一時停止）ボタン***

11 **⏏（MD取り出し）ボタン**

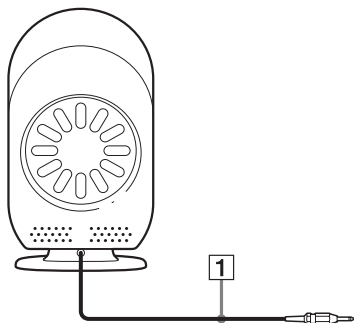
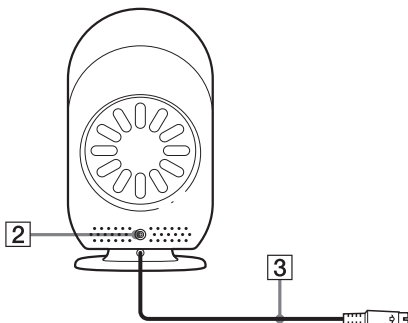
12 **NETWORKボタンとランプ**（NETWORK：ネットワーク）
パソコンと接続するときに使います(48、49)。

13 **HIGH SPEED RECボタンとランプ**（HIGH：ハイ　SPEED：スピード　REC：レコーディング）
CDからMDへのシンクロ録音を高速で行います(17、29)。

14 **AUDIO OUT端子**（AUDIO：オーディオ　OUT：アウト）
別売りのアクティブスピーカーを接続します(12)。

15 **PHONES端子**（PHONES：フォーンズ）
ヘッドホン（別売り）を接続します。

16 SPEAKER OUT端子（スピーカー アウト）
LAM-Z10に付属のスピーカーを接続します(12)。

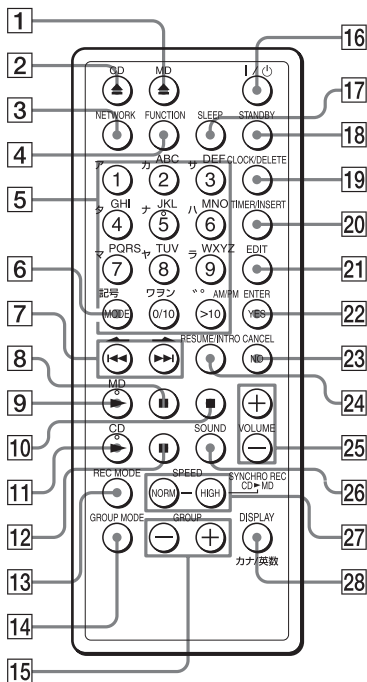
17 USB端子
付属の専用USB接続ケーブルを使って、パソコンと接続します(48、49)。

18 電源コード

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
**VOLUME「+」の側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

スピーカー（LAM-Z10のみ）

1 **スピーカーコード**
左スピーカーのR OUT端子に接続します(12)。

2 R OUT端子（アウト）
右スピーカーのスピーカーコードを接続します(12)。

3 **スピーカーコード**
本体のSPEAKER OUT端子に接続します(12)。

リモコン

1 **≜MD（MD取り出し）ボタン**

2 **≜CD（CD取り出し）ボタン**

3 ネットワーク
NETWORKボタン
パソコンと接続するときに使います(48、49)。

4 ファンクション
FUNCTIONボタン
音源の切り替えに使います。
押すたびに、MD→CD→NETWORKと切り替わります。

5 **数字／文字ボタン**
CD・MDのダイレクト選曲、MDの文字入力や時計、タイマーの設定に使います(23、39〜42、44、45)。

6 モード
MODEボタン
CD・MDの再生方法を切り換えます。
リピート再生(25)
シャッフル再生(26)
プログラム再生(26)

7 **⏮、⏭（AMS/サーチ）•◀◀、▶▶ボタン**(13、15、21、23、28、31、38、40、45)

8 **MD❚❚（一時停止）ボタン**

9 **MD►（再生）ボタン***

10 **■（停止）ボタン**

11 **CD►（再生）ボタン***

12 **CD❚❚（一時停止）ボタン**

13 レコーディングモード
REC MODEボタン
ステレオ録音、LP2ステレオ録音、LP4ステレオ録音を切り換えます(17、29、30)。

14 グループモード
GROUP MODEボタン
グループモードのON／OFFを切り換えます(28)。

15 グループ
GROUP－、＋ボタン
MDのグループを選びます(28、32、33、35、38、39)。

16 **I/⏻（電源）ボタン**

17 スリープ
SLEEPボタン
音楽を聞きながら眠るときに使います(46)。

18 スタンバイ
STANDBYボタン
タイマーの予約をするときに使います(45、46)。

⑲ CLOCK/DELETE**ボタン**
時計の設定や、MDの文字入力に使います(40、44)。

⑳ TIMER/INSERT**ボタン**
タイマーの設定や、MDの文字入力に使います(40、45、46)。

㉑ EDIT**ボタン**
MDの編集をするときに使います(31〜40)。

㉒ YES•ENTER **(決定) ボタン**
選んだ項目を決定します。

㉓ NO•CANCEL **(取消し) ボタン**
選んだ項目を取消します。

㉔ RESUME/INTRO**ボタン**
CD・MDのリジューム再生機能の切り換えやイントロ再生に使います(15、21、24、52、53)。

㉕ VOLUME **(音量) +、−ボタン**

㉖ SOUND**ボタン**(43)

㉗ SYNCHRO REC CD►MD**ボタン**
NORM SPEED(17、29、30)
HIGH SPEED(17、29)

㉘ DISPLAY•**カナ／英数 (表示切り換え•文字入力切り換え) ボタン**
表示窓の情報の切り換えや、MDの文字入力をするときに入力モードを切り換えるのに使います(13、22、23、40)。

* 凸点 (突起) がついています。操作の目印としてお使いください。

解説

ここでは、ミニディスクについての技術用語やシステム上の制約について解説します。

「TOC EDIT」とは

TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などの際、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います（「Toc Edit」が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

Net MDとは

OpenMGとMagicGateによる高度な著作権保護を用いて、パソコンとMD機器をUSB（Universal Serial Bus）ケーブルで接続し、パソコンの音楽データをMD機器に高速転送することができるフォーマットです。
MDへの記録方法は、従来から変更がないため、既存のディスクが使用でき、記録された音楽データは、既存のMD機器*で再生可能です。
パソコン上のSonicStageでは、様々な編集操作や漢字やひらがなを含めた文字入力が簡単に行なえます。
*LPモードで転送した場合は、MDLP対応機器のみ

MDLPとは

本機は、従来の音声圧縮技術「ATRAC : Adaptive TRansform Acoustic Coding」に加え、「ATRAC3 : Adaptive TRansform Acoustic Coding 3」を採用しています。この技術は、聴覚心理学に基づいて人の耳には聞こえない音をカットし、音楽データを約1/10に圧縮します。これにより、録音時間を従来の2倍、または4倍に拡張するMD長時間録音モード「MDLP : Mini Disc Long-Play mode」が可能です。80分ディスクの場合、LP2モードで約160分、LP4モードで約320分の録音・再生ができます。

MDのシステム上の制約について

MDは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。

255曲録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲数にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full」が表示される。

同じディスクで録音、消去を繰り返すと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく捜し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは、曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり255曲になると、録音できなくなります。
さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音）、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

曲をつなげない。

つなごうとする曲のデータがディスク上に分散しており、それぞれのデータの長さが12秒以下のとき、その曲の曲番を消して前の曲をつなぐことはできません。また、ステレオ録音した曲とLP2ステレオ録音、LP4ステレオ録音した曲など、異なる録音モードで録音された曲をつなぐことはできません。

ディスクに録音した時間と残りの時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない場合がある。

通常、録音はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、録音を止めたあとまた録音を始めるときは、録音を始めたところで約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）短くなります。

編集した曲を再生、または早送り、早戻しするときに音が途切れることがある。

短い曲がディスクの上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

一度高速録音した曲は、74分間は再び高速録音できない（HCMS:ハイスピードコピーマネージメントシステム）。

ある曲を高速録音すると、録音を始めた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。

一度高速録音した曲を74分以内に高速録音しようとすると、通常の速度で録音されます。一枚のCDの中に何曲か高速録音した曲がある場合は、その曲だけが通常の速度で録音されます。

デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて（シリアルコピーマネージメントシステム）

デジタルオーディオとは、音声信号を数値（デジタル）でやりとりするオーディオ機器です。コンパクトディスク（CD）、ミニディスク（MD）、デジタルオーディオテープ（DAT）などがこれにあたります。
これらは音楽を手軽に、ほとんど劣化なしでコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。「シリアルコピーマネージメントシステム」です。
本機の設計はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

デジタル信号同士のコピー*は1世代まで

原則1

市販のデジタル音楽ソフトのコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

原則2

市販のアナログ音楽ソフト（アナログレコードやミュージックカセットテープ）や公共放送を録音したもののコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

MDプレーヤーのアナログ出力端子同士をつないで録音した場合のように、デジタル信号をアナログ信号にして録音した場合はこの原則に当たりません。

* コピーとはここでは「デジタル信号をデジタル信号のまま録音したもの」を指します。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ、ヤ行

ラ行

アルファベット順

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

●ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ
（http://www.sony.co.jp/support-pa/）

Net MD対応機器に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその解答をご案内しています。

●電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）

- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：LAM-10またはLAM-Z10
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日
  - ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境（別冊「パソコンでNet MDを使ってみよう！」37ページ）を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Net MD
デスクトップオーディオ
LAM-10/LAM-Z10
T10-1001A-1

「お問い合わせ窓口のご案内」については、裏（67ページ）をご覧ください。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川6-7-35

Printed in Japan